



平成30年  
12月号



発行人 泉森 由貴  
公益財団法人 奈良市生涯学習財団 田原公民館  
奈良市若荷町1078-1  
TEL 81-0888  
発行責任者 泉森 由貴

「難儀もまた楽し」

館長 泉森 由貴

12月になりました。軒先に吊し柿や串柿が連なっています。カキは嘉来ともいい、縁起ものの果物です。特に串柿は豊臣秀吉が始めたと言われる近畿特有の文化で「いつもニコニコ仲むつまじく、共に白髪の生えるまで」のいわれは2・6・2の並びに串刺して白い糖分が表にでるまでを意味します。軒の上から十連に並ぶ様子は圧巻です。背中を丸めダウンを着込んだカメラマンは夕日に反射する串柿を狙ってファインダーを覗いています。

簡単そうに見えるこの天然のドライフルーツ作りは意外に難しいものです。なぜなら実が堅いうちに収穫して干すと、気温が高い日があり、腐敗します。反対に寒くなるのを待ってから作業を始めようとすると、柔らかく熟しすぎた実が自然に渋みを消してしまい、黒い鳥たちの格好の餌食になってしまいます。ここでは物事を見極めて、行動に移す目とチカラが求められます。

さて先日、老春塾の館外学習で大阪の門真市にある松下幸之助歴史館へ見学に出かけました。和歌山の田舎町に生まれた幸之助少年が10歳で大阪へ丁稚奉公にだされ、一代で小さな電気店を世界的大企業へ発展させた年表のような展示。その時代背景と氏の思いと生き様が壮大な物語のように見

連続講座「チャレンジ和太鼓」  
が10回の練習を終えました

チャレンジすること

受講生 平野由美さん

私と田原公民館の出会い、定年を迎え今まで知らないことに「チャレンジ」したいと参加した小豆栽培でした。作物作りの楽しさを知り、自主グループにつながりました。

そして今回の「チャレンジ和太鼓」。太鼓に触ったことが無いのに、やりたい気持ちが勝り、「田原文化祭」での発表を目標にスタート。メンバーは小中学生と泉森館長を含む大人併せて10名。まず正しい構えで力強く音を響かせるのが大変。個々にはできても、皆で合わせるとバラバラ。沖見先生にはお世話をかけました。最後の練習で何とか形にはなったものの不安いっぱい。そして文化祭当日。揃いのハッピーで舞台へ。緊張から多少のミスはあったけれど、最後は全員が揃い、無事演奏できました。

「チャレンジ」することは少し勇気が要るけど、人と出会い豊かな時間が持てます。次は何に「チャレンジ」しようかな？



思えば以前、研匠の根矢さんは私にこんなことを教えてくれました。「水の気持ちで生きること。何にでも馴染んでいく、それがどんな器でも。」と。

日々の業務の中には時に難儀なこともあります。どうにもならない無力感を突きつけられることも。そんな中でも錆びず、腐らず、楽しんで成長の糧にしたい。田原にいるとそう思えるようになりました。串柿のように人に揉まれ、人に喜ばれる存在でありたいものですね。



元奈良市最高峰の国見山に登ってきました。

秋が深まってきた、11月半ば。健康の増進と田原地区の知られざる魅力発見を目的に「健脚あつまれ！秋の国見山」を開催しました。



公民館に集合し、コーラス説明と講師紹介です。講師は矢田原町在住の浦川温亮さん。国見山は何度も登っているという浦川さんですが、下見に行ったところ、かつてないほどに荒れていたと言います。皆さんが登る前に整備して当日を迎えました。

春日宮神社に立ち寄り、いよいよ登山道へ。緩やかなところと急な上り坂の繰り返し。息を切らせながら、頂上へたどり着くことができました。昼食後は長谷町への一筆書きのルートです。三角点から塔の森、日吉神社へ訪ね、車道を通って公民館へ。途中、松本家住宅へ見学に伺いました。健脚の名の通り、ひとりの脱落者もなく完歩することができました。皆さんそれぞれに美しい紅葉を楽しまれました。

地域伝統デカいも雑煮

田原を含む東部地区では、正月に親芋(かしらいも)を丸ごと煮るといいます。男性が家事を行うという伝統的な田原の正月を再興してみませんか。公民館までお問い合わせください。

時：12月14日(金) 10時～14時  
会場：おくどさんのある民家  
対象：成人15人  
費用：500円  
講師：奈良民俗文化研究所 鹿谷勲さん





第8回目は、大野町にある十輪寺の森崎隆弘住職を訪ねました。

取材：吹ノ戸由実子 写真：泉森 由貴

空に伸立つ銀杏の木の色づいた葉がはらはらと舞い、山門の紅葉が美しさを増し始めた十輪寺に、森崎住職を訪ねました。

▼十輪寺の創建はいつ頃ですか？●平安時代といわれています。根拠は七〇〇年前のもの、鉦鼓等が残っており、通常はその二〇〇年前に遡ると考えられ、平安末期と推測されます。最盛期は江戸時代中期26の末寺を擁する本寺でした。正式名称は離苦山十輪寺といひ悟りをひらく山の意味があります。▼檀家の数は？

●地区内に二四〇軒、地区外に六〇軒です。神戸や堺、京都の淀や三重の名張までお参りします。▼地域の方がご存知ないお話はありませんか？●この寺は文政二年一八一九年に全焼しました。しかしわずかの4年後に専明住職が再建され、棟札が残っています。当時の庄屋や村大工、檀家、末寺の名前が列記されています。その中には藤堂藩の山本平左衛門の名も庄屋の並びにあり、法隆寺の棟梁が出張して建立した記録があります。十輪寺は昭和12年まで法隆寺の末寺で、法要の折にはこちらから出向いていました。戦時中、法隆寺の宝物を田原地区の土蔵に隠したと伝え聞き、関わりの深さを感じます。その後真言宗の東寺の末寺となりました。また明治の飢饉の折には、大庄屋の山本家が蔵を開け、村民に米を分け与えたとお預かりしているお位牌

の裏に記されています。その後お家は村を出られましたが、山本家は村の恩人だと私は思っています。▼当時のお寺の特徴は？●十輪寺は学問寺といわれ、小僧さんを育てるお寺でした。宿舎もあり26の末寺の住職を養成していました。▼今後どのようなお寺にしたいですか？●地域の人口が更に減少すると思われ、地区内だけではお寺を維持するのは困難になるので、折につけ地区外の檀家の方に案内を送り、地区内外のどんな方にも来ていただけるような、開かれたお寺にしたいと思っています。



▼田原でお好きな景色は？●グリーンロードから見る景色です。この十輪寺も望め、秋は銀杏の黄色が際立ちます。その景色を見て訪ねて来られる方もあります。▼最近建立された永代供養塔のことを教えてください。●時代の流れかお墓を守れないお家が増えています。偶然にも新墓の中央に墓地を返還される檀家の方がおられ、そこに建立することに決めました。天満宮にあった天満寺跡から見つかった弘法大師像を寄贈していただき、デザインしました。中にお骨を収められる石室が二層になっています。納骨時と盆、彼岸に供養をさせていただきます。▼お大師様が守ってください素晴らしい供養塔ですね。本日はありがとうございました。▼お大師様には、みなに心の安らぎを与え、この地を見守り、いつまでも変わらぬ姿であり続けてほしいです。墓地にある山本家のお墓に手を合わせ、明治時代に思いを馳せてこの日の取材を終えました。※公民館図書室に大和国無足日記(山本平左衛門日記)を所蔵しています。

美しい星空も田原の魅力です 「家族で星空観察」を開催しました

9月の長雨に祟られて、延期に次ぐ延期となっていた奈良市家庭教育サポートネットワーク支援事業「家族で星空観察」が二月「日土曜日」に無事実施することが出来ました。参加者の皆さんの感想をどうぞ。

大人の方より●先生方が熱心に教えてくださってとても良かった●星に興味をもつ機会ができた●昔を思い出して楽しかった●ぜひ他の季節の星も見たいです●ゆっくり色々な星をみせて頂けて楽しかった●望遠鏡がたくさん用意されていたので見やすかったです。●久々に星空をみて星座を忘れていたことに気がつきました。●自分たちだけでは出来ない経験を身近でさせて頂いてありがとうございました。●星が少し身近に感じられるようになった。子どもたちより●楽しくてワクワクしました。●星がきれいだった。●月がきれいでした。●知っている星や知らない星もあったのでおもしろかった。●すごく楽しかったし、来年はよりうりをしたい。●また家でも星を見てみたいと思った。●さむかったけど、星がたくさん見られた。



講座アンケートより抜粋

12月の公民館行事とその他のお知らせ
1日(土) 第5回 TAWARAキッズ クリスマス会 10:00~11:30
6日(木) プチ田舎暮らし・田原 -果樹剪定- 9:30~11:30
13日(木) 第2回 プチ田舎暮らし・田原 -串柿としめ縄- 13:00~16:00
14日(金) 地域伝統! デカいも雑煮 10:00~14:00
21日(金) 移動図書館 14:00~
年末、年始の休館日・休業日
田原公民館: 12月27日(木)~1月5日(土)
田原連絡所: 12月29日(土)~1月3日(木)

Merry Christmas
教育ボランティアサークル
アンダンテと公民館のクリスマス会
参加は自由、幼稚園までのお友達もお家の方と一緒に
日時: 12月1日(土) 午前10時~11時30分頃まで
場所: 田原公民館 2階集会室
参加費: 無料
内容: ☆クラフト★この枝でサンタをつくろう☆アニメ☆ハンドベル演奏☆クイズ☆おかしなプレゼント